

◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

神戸迎賓館 旧西尾邸

1919年(大正8年)に建造された神戸迎賓館は、大阪の初代通天閣をデザインした設楽貞雄。県の文化財にも指定された神戸の西洋建築を代表する施設です。自然に囲まれた10,000㎡の広大な敷地には日本庭園があり、四季の移ろいを愉しむことができます。

◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

兵庫県指定重要文化財

神戸迎賓館 旧西尾邸

1919年築の神戸迎賓館は県の文化財にも指定された神戸の西洋建築を代表する施設です。自然に囲まれた1万平米の広大な敷地全体が神戸市の名勝庭園指定に。2010年には本館を含む5棟が、兵庫県の重要文化財に指定されました。大正ロマン薫る本物洋館である本館でのウエディングの提供、本格フレンチを提供する予約の取れない人気レストランだけではなく、新館やチャペル棟を増築する事で営業スペースを拡大しています。

事業	スペック
<ul style="list-style-type: none"> ・レストラン ・宴会 ・婚礼 	本館 1F：レストラン（席数：40席） 小バンケット（席数：着席30席） 2F：中バンケット（席数：着席72席） 新館：大バンケット（席数：着席126席）
	ラウンジ等 1F：ウエディングサロン 2F：多目的スペース その他：日本庭園・イングリッシュガーデン



■本館・エントランス
本館にはいと、大理石でつくられた、当時のオーナーが贅を尽くしことがうかがえる、荘厳な空間が出迎えます。



■本館・前室
レストランの前室に当たるスペース。テーブルやイスなどの調度品も当時のものを復元しています。



■日本庭園
神戸市名勝指定を受けた日本庭園が敷地内に。茶室も文化財となっています。



■新館①
開業時に新築した施設。1Fはウエディングサロン、2Fは多目的利用可能な空間となっています。



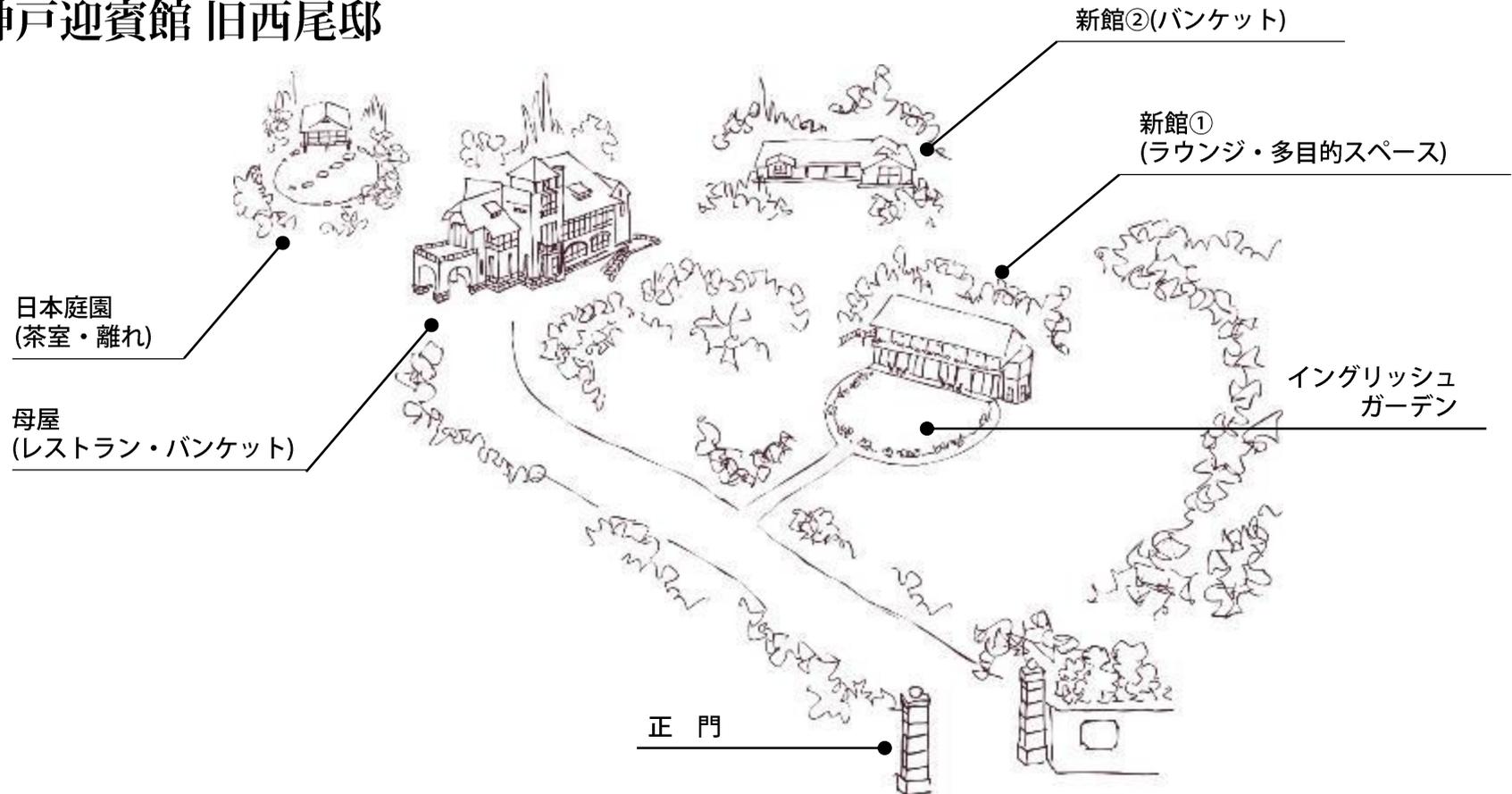
■新館②
開業時に新築した新館。2016年には新たに改装され、重要伝統的建造物保存地区である北野エリアをイメージしたデザインとなっています。

◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

神戸迎賓館 旧西尾邸



◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

神戸迎賓館 旧西尾邸

所在地：兵庫県神戸市須磨区離宮西町2丁目4-1



◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

神戸迎賓館 旧西尾邸

母屋の2階には中規模宴会場「鳳凰の間」が。当時は畳敷きだったこの空間は、カーベットを敷き現代風に利便性を確保するも、鳳凰が描かれた欄間をはじめ、意匠はそのまま生かして活用。大正ロマンがおる空間に蘇り、ウエディングパーティなどに人気を博しています。

◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

神戸迎賓館 旧西尾邸

1919年(大正8年)に建造された神戸迎賓館は、大阪の初代通天閣をデザインした設楽貞雄。県の文化財にも指定された神戸の西洋建築を代表する施設です。自然に囲まれた10,000㎡の広大な敷地には日本庭園があり、四季の移ろいを愉しむ事ができます。

◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

神戸迎賓館 旧西尾邸

当時ヨーロッパで流行したアール・ヌーヴォーの流れを汲んだ本格的なセセッション様式の迎賓館は大正から昭和初期の神戸において、「社交界の華」と称されていました。その母屋にあるレストラン「ル・アン」はオープン当初より数々のメディアで紹介され、一躍「予約の取れないレストラン」に。トラディショナルでありながら斬新な神戸フレンチを、上質なサービスで提供し、愛されています。

◆ [1] リノベーションの成功事例

施設単体での取り組み

B) 増築による再生事例

神戸迎賓館 旧西尾邸

広大な敷地や価値の高い洋館を維持保存していくためには、収益性を高める必要があり、敷地内に新たな営業スペースを拡大する事で、それを担保しています。母屋とは違った趣向にすることで、様々なターゲットを取り込み、成功しています。